

プロの産業翻訳者になるための基礎知識

本書の読者は次のような方々を想定しています。

- 産業翻訳、翻訳業界、フリーランス翻訳者、社内翻訳者に興味がある方
- 将来プロを目指している翻訳学習者
- 語学力、専門知識を生かしたキャリアの選択肢として翻訳を考えている方
- 副業、在宅ワークに興味がある方
- 翻訳者として働いているが、あまりうまくいっていない、またはキャリアプランが定まっていない方

基本的には翻訳の仕事を検討中あるいは準備中、経験の浅い翻訳者の方向けの内容です。

翻訳の仕事をするための情報は有料、無料を問わずたくさんあります。そのため、何が自分にとってもっとも有益な情報かを判断したり、得た知識をどう活かしたりするかはかえって難しい場合があります。

本書では、様々な情報をどうやって自分に当てはめれば良いか分からない、プランをしっかりと組み立てて目標に向かいたいが、選択肢が多くて迷っている、といった方のために「**まずはここを押さえてほしい**」という知識を厳選してまとめています。

したがって「これを読むだけで100%翻訳者として稼げる」というものではありません。また、そのような情報商材は本書を含め存在しないと思っています。もちろん基礎的な部分を中心に実践的な情報をできるだけ盛り込むようにはしていますが、それを土台として「**自分で考え、なんとかできる力をつける**」ようになるための知識、心構えなどを身につけてもらえるものを目指しています。

「翻訳者」の仕事は、外国語ができればすぐなれる、というものではありません。

フリーランスであれば

- 翻訳元および翻訳先言語の高度なスキル

- 翻訳そのもののスキル
- 案件の種類や分野、タスクの内容、価格相場など、業界の常識
- 案件の獲得方法
- 翻訳に必要なツールや辞書、備品などの知識
- 上記の情報を効率的に収集できる媒体や組織などの知識

少なくともこれだけの能力、知識がなければ、翻訳者として仕事をするのは難しいです。しかし、闇雲に情報を渡り歩くだけでは時間を無駄にするだけです。本書では、これ一つでこれらの知識の基礎部分を網羅したものと、知識と能力の幅を広げる足がかりとなるものです。

正しい情報を求めて右往左往するのではなく、ポイントを抑えた情報を一気に吸収し、もっと大事な「翻訳の実力をつける」という目標にフォーカスしてもらえます。

正直に言ってしまうと、ここに書かれている情報、知識をすべて無料で手に入れ、身につけることは可能です。ですが、本書は1日で読み終え、次の日から実践に移ることができる、という点で大きな価値があります。今まで私が10年以上に渡って得てきた経験や知識、そしてコンサルティングを通して今まで皆様から寄せられた疑問に対する回答が、この数十ページに詰まっています。膨大すぎる情報量のある程度コンパクトにまとめているため敢えて深く掘り下げていない箇所もありますが、当サイトのブログやコンサルティングサービスで補完していただけるものと思っています。

次のような方には十分な情報が含まれていない場合がありますのでご注意ください。

- 学習する意欲がない方
次の項目とも関連しますが、翻訳という仕事には当然ながら語学力をはじめとする様々なスキルが必要となります。「現時点でスキルがない人が翻訳者になれない」ということでは決してありませんが、「スキルがないなりに翻訳で稼ぎたい」という考えの方には本書はおすすめできません。
- 「手軽に稼げる」「今すぐ高収入」といったキーワードを期待されている方
一部の翻訳講座などで、「英語力がなくても翻訳者になれる」「1ヶ月で副業〇〇万」のようなフレーズで展開されているものがありますが、そういった類の情報は含まれていません。あくまで「多様な働き方を模索したい」「語学を活かした仕事がしたい」「翻訳者になりたい」といった目標を持っている人向けの内容になります。

- すでに長期間に渡って翻訳者として安定稼働されている方
現状翻訳者として長期に渡って問題なく生活できている方にとっては、目新しい内容はあまり多くない可能性があります。
- 英日、日英翻訳以外の言語ペアでの詳細な案件情報などを収集したい方。
基本的にはどの言語の翻訳の仕事をする場合でも役に立つ情報をまとめていますが、英日、日英以外の言語に特化した情報は詳しく記載していません。言語ペアに関する情報について言及する場合は、英語と日本語を前提とした解説を行っています。
- 文芸（出版、映像など）翻訳関連の詳しい情報を収集したい方 ※本書では主に「産業翻訳」と呼ばれるジャンルについて記載しています。一部文芸翻訳について触れている内容も含まれていますが、文芸翻訳を目指す明確なプランをお持ちの方にとってはすべての内容が有用ではないかもしれません。
- 実践的な翻訳スキルを身につけるための教材「のみ」を探されている方
本書は実務レベルの翻訳スキルの学習書ではありませんので、その点はご了承ください。翻訳を学習する、ビジネススキルを身につける上で役立つ情報、効果を最大化させる方法などがメインコンテンツとなります。

はじめに

ここ数年、働き方改革や新型コロナウイルスによる影響で、「副業」、「在宅」、「フリーランス」といったキーワードと共に、「翻訳者」という職業が注目を集めています。

実際に、本業、副業を問わず翻訳者になりたい、翻訳者になるための方法を知りたい、という人はかなり増えていますが、業界的には少しずつ翻訳者の若年化が進んでいるというデータもあります。

多様な働き方を模索していく中で、翻訳という仕事は、「技術を活かす」「体一つでできる」「副業として高収入が得られる」のようなイメージから、確かに、特に外国語に一定の自信がある人にとって、魅力的に映るのかもしれませんが。

メリットとして語られるそのような一面は、すべてではありませんが実際にプロとして稼働できていれば実感することができると思います。

では、翻訳者になるにはどうすればいいのでしょうか。

そもそも、翻訳とはどんな仕事なのでしょうか。

どのくらい勉強して、何をすれば希望する収入を得ることができるのでしょうか。

語学力や専門知識を活かしてフリーランスに転身したいという人や、在宅でできる副業として翻訳に興味がある人、理由は色々あると思いますが、翻訳は比較的ニッチな業界のため情報を集めるのが大変です。

有用な情報は断片的にあちこちに転がっていますが、自分にとって何が有用なのか、何を調べるべきなのか、といったことを取捨選択している内に、「なんだか良く分からないし難しそうだからやめておこう」となる人も少なからずいて、参入のハードルを高くしています。

かかるお金も本一冊から数十万かかるスクールまでピンキリですが、自分の現状から費用対効果を正確に予想するのは、業界についてよく知らない人にとっては非常に困難です。

ここで少し自己紹介をします。

私は日本の翻訳会社で約13年プロジェクトマネージャー（PM）として働いた後、フリーランスとして独立し、現在は翻訳キャリアコンサルティング、企業向けコンサルティング、実務翻訳者としての活動を中心に複数の仕事を兼業して生活しています。

実務翻訳は副業という位置づけですが、翻訳の売上は他の仕事とバランスを取りながら月収の1割～5割/月で毎月変動しています。

会社を辞めて独立した理由は、現在翻訳業界を取り巻く状況が大きく関係しています。

今の業界の現状はフリーランス翻訳者にとってあまり好ましいものではありません。

幸いにも新型コロナウイルスによる悪影響は限定的ですが、ここ数年の流れは、様々な要因によって、いい意味でも悪い意味でも変革が求められる過渡期であると考えています。

詳細については本編で説明しますが、とりわけ翻訳を産み出すエンジンであるプロの翻訳者、そして翻訳者を目指している人たちにとっては悪い方の影響がよく語られていて、現場で実際に働いていた私もそれを強く感じていました。

このままでは翻訳という仕事が、大袈裟に言うと夢のある仕事ではなくなってしまい、業界全体の衰退につながるのではないかという危機感が日に日に大きくなっていくのを感じていました。そこで私は組織から離れ、翻訳に携わる人、それを目指す人が、能力に見合った健全な環境で力を発揮できるお手伝いをするために、今の仕事をすることに決めました。

本書では、フリーランス翻訳者として収入を得るために私が調べたり学んだりしたこと、翻訳会社の一員として、そしてフリーのコンサルタントとして何百人もの翻訳者の方々とお付き合いしてきた経験から、大きく次の点について役に立つ情報を紹介しています。

- ・ 翻訳者を目指す前に知っておくべきこと
- ・ 翻訳者になるために必要な能力と、その身につけ方
- ・ 翻訳のプロとして安定して仕事を続けていくためのノウハウ

注意していただきたいこととして、本書自体は「翻訳の能力を伸ばす」ものではないということです。

これを読んだからといって、明日いきなり翻訳者として一人前になることは出来ません。外国語がまったくできない素人に魔法をかけてあっという間にプロに育成する内容があるわけでもありません。

ここでお伝えする内容は、翻訳者としてのスタートラインに一日でも早く立つためのブースターだと思ってください。

「スタートラインに立つだけかよ」と思われた方がいるかも知れませんが、その考えこそが失敗の元だと私は考えています。スタートラインに立つことがどれだけ大変なことかを理解できない人は、おそらくフリーランスに向いていません。

無責任に聞こえるかもしれませんが、翻訳者としての実力をいかに早く身につけ、翻訳を生業とすることができるかは自分の努力次第です。

「急がば廻れ」という言葉がありますが、今の情報が溢れすぎている時代にこの言葉を鵜呑みにしすぎると、寄り道ばかりでまったく前に進めない、なんてことはよくあります。必要な寄り道もちろんありますが、選択肢が多すぎるが故に不要な寄り道が今は多すぎるのです。この不要な寄り道を可能な限り削ぎ落とす、というのが本書の本質です。私自身もフリーランスとして情報を調べたり勉強をしたりしていく中で、「これって実際のところどうなの？」となる事が非常に多く、また、同じような疑問を抱えている人が非常にたくさんいるという現状を見てきました。そんな疑問を、ここではできるだけわかりやすく解決していきます。

ここまで読んでいただけた方に、最後にお伝えしておくことがあります。

翻訳はとてもやりがいがある、素晴らしい職業です。学べば学ぶほど、その奥深さに魅了されると思います。

しっかりと翻訳者としての知識や能力を身につけることさえできれば、本業でも副業でも、それに見合う収入を得て生業とすることは十分に可能です。

軌道に乗ってしまえば、この厳しい時代でも食いつぶされることのない、非常に底堅い職業であることは、身を持って経験してきた私が保証します。

ただし、すでにお伝えしたとおりこの業界は今変革の時期を迎えており、「長い目で見て、いずれは」という認識ではおそらく失敗するか、一度も翻訳者として仕事をする事ができないまま終わってしまうでしょう。

そうならないために、ここで紹介する事が、一日でも早く翻訳という仕事についての理解を深め、翻訳者になるためのアクションを起こすための助けになればと思っています。